



『七転八倒の生き方』

管長 菊池重敏

ある人が高僧に尋ねました。「いかなるかこれ正真(しようしん)の一路。」つまり、真実で、真っ直ぐで、正しく、この道さえ歩いて行けば絶対に間違えの無い、一本の道は何ですか。

高僧は、「それは七転八倒だよ」と答えました。七転八倒と言えば、激しい苦痛などで、ひどく苦しんで転げまわる事を意味しますが、それが何故、正真の一路と成るのでしようか。高僧が言われるには、一生懸命に、具体的に動いていれば、必ず転んだり倒れたりする。これが正真の一路だ、と言うのです。転ぶ時には転ぶ事に成り切り、倒れる時には倒れる事に成り切る。起きると言う事は頭の中に全然無い。その時が最高の生き方なんだ、と言っているのです。

新緑号
編集・発行
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
宗教法人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL03-3407-0524 番

我々は「七転び八起き」と言う言葉を使って、自分を励ましたり、人を元気づけたりしますが、今失敗しても次に頑張れば良いのだから、と言う励ましの言葉で使うわけです。しかし、次に頑張れば良いのだからと言う、次を期待してしまふ事が、自分にとっても、又、相手にとっても、次に頑張らなければならぬと言う、プレッシャーになってしまいます。ですから、人生に於いて転ぶなり倒れてしまふ時にはそれなりの理由が有るのであるから、無理に起きようとして、無理に起きようとして、直に受け入れて、状況を味わう位の心構えが有れば、どんな時にも対応できる、最高の生き方と成る事を教

えているのです。我々はどうしても人と比べてしまいます。人並みで有りたい、人よりももっと良くなる心、失敗や挫折を許せない、自分を責めてしまふ気持ちになる事が有ります。雪道で滑って転ぶ事が有ります。人が周りに居れば、恥ずかしくて、急いで起き上がるうとします。誰も居ない所で転ぶと、周りの事には気にしないで、転んだ自分がコツケイで楽しい気分になったりします。転んだついでに雪の上に寝そべて空を眺める余裕も出て来ます。それが、転ぶ時には転ぶ事に成り切る。最高の生き方と成って行くのだらうと思

明治天皇御製
國のため盡すところはかわらねど
わがたつ道をまづおもふらむ
ともすればさまたげられてひとすぢに
ゆかれぬものは道にぞありける

その心への切り返し難しさは何でしょうか。人と比べてしまふ心、こう有るべきだと思ひ込みの心、こだわりの心が、裸の心に成り切れず、自分を追い詰めてしまふ。自分が嫌に成ってしまう、絶望的な心と成ってしまうのです。転んでしまえば、転んだ時にしか見られない景色にも出会えます。せつかく転んで味わえた景色を受け入れて楽しむ。起き上がるばかりが人生では無い。そうした心の余裕が、七転八倒の状況の中でも、最高の生き方と成って行くのではないのでしょうか。

年越大祓



大祓式奉仕の祭員

令和三年「年越大祓」が、コロナ禍が一時的に落ち着いた十二月二十一日、大神様の御守護の元、祭員奉仕者、近郊教師の方々の御参加を戴き、厳かに行われました。



祓主祓詞奏上

浄衣を着装した齋主以下祭員が御神殿に着床し、和田典儀より開式の辞の発声の後、修祓の儀、齋主一拝、献饌の儀と次第が進められ、師走月次祭の祝詞が菊池管長より奏上され、続いて参拝者に向かって大祓詞が力強く宣られ、一同が応答致しました。



大麻所役祓い行事

続いて後祓詞を禮典長が奏上し、次に齋主・祭員が玉串を奉りて拝礼、一般参拝者玉串奉奠と続き、撤饌の儀、齋主一拝にて「年越大祓」が滞りなく斎行されました。続いて靈殿祭が執り行われました。

祭員と参拝者が声を合わせて四大信條と「きよめ祓いの歌」を奉唱致しました。続いて後祓詞を禮典長が奏上し、次に齋主・祭員が玉串を奉りて拝礼、一般参拝者玉串奉奠と続き、撤饌の儀、齋主一拝にて「年越大祓」が滞りなく斎行されました。続いて靈殿祭が執り行われました。



管長祝詞奏上



管長大祓詞を宣り聞かす



禮典長先導による四大信條・きよめ祓いの歌奉唱



四大信條・きよめ祓いの歌を奉唱する祭員



管長八針の神事



管長解繩神事



禮典長後祓の詞奏上



管長玉串奉奠



参拝者玉串奉奠

大教院の初詣

午前零時の新年を知らせる大教院の太鼓の音と共に新しい年が始まりました。

午前七時より御本殿にて、大熊典禮齋主の元、歳旦祭を斎行し、新しき年の御皇室の弥栄と国家の安泰、世界の平和、国民の安寧、五穀豊穰を御祈願致しました。コロナ禍の為、受付の窓にシートを取付け、アルコール消毒を徹底しての、感染対策に努めました。

大晦日の夜より三日までの間、助勤の巫女が授与所にて参拝者の対応をし、毎年



歳旦祭大麻にて四方清め祓い

恒例となった、「福菓子」(御菓子の景品)が当るくじを楽しそうに引く参拝者や、振舞われた甘酒に舌鼓を打つ方々のお姿が多く見られました。

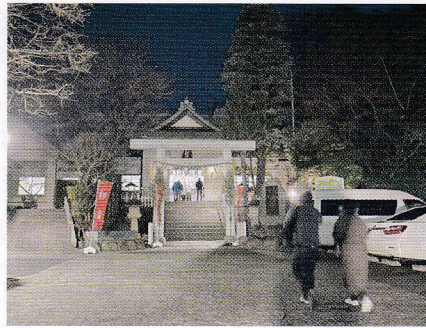
今年の初詣は、昨年より多くの方に御参拝を戴き、授与品等も沢山お受け戴きました。おみくじを引かれる方も多く、御本殿脇のおみくじ掛けが一杯になりました。

新年祈祷や、厄祓等の祈拝件数も増え、三ヶ日が済みましても、御参拝の方が御本殿前で手を合わせられるお姿が多く見られました。入口に新築致しました授与



歳旦祭大熊典禮祝詞奏上

所が、新しい目印となり神道大教院を知って戴く切っ掛けに成った事と思えます。今後も、参拝者が益々大神様との御縁を深め、又、心の拠り所の大教院として、大神様の御神威が発揚されます様努めて参ります。



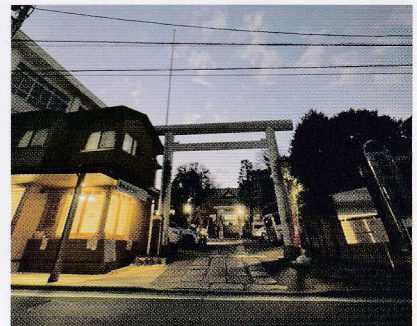
初詣参拝者



助勤の巫女さん



初詣で「福菓子」を受け取る参拝者



初詣準備の整った境内



みくじ掛け



境内に設置された大型干支絵馬

春分霊祭齋行

境内の桜の蕾も徐々に開き始め、暖かい日差しの中、弥生の月次祭に併せて、春分霊祭を齋行致しました。二十名程の御参列を戴きました。霊殿祭では、お花が飾られ、海山野のお供物に牡丹餅も供えられました。菊池管長の祭詞奏上では、三月に祥月命日となられる御霊様のお名前を一柱ずつ読み上げられました。更に、第二代管長稲葉正善大人命の百二十年祭を始め、草野ふさの刀自命の三十年祭、野原わかを刀自命の五十年祭、篠崎マス姫命の九十年祭を併せて執り行い、御霊殿にお祀りされている全ての御霊様を御奉齋致しました。祭詞奏上の後、管長より和歌が朗詠され、続いて橋村美樹師が慰霊の舞を奉奏し、婦人会有志による神教歌が参列者と共に斉唱され、玉串を捧げて御霊様をお慰め致しました。



管長の祭祀奏上



橋村美樹師の慰霊の舞奉奏



婦人会有志による神教歌斉唱

節分祭齋行

季節の変わり目、二月の立春前日の二月三日に恒例の節分祭を齋行しました。神前にて祝詞を奏上し、邪気を祓うと伝えられる豆撒きを行い、疫病等の災厄を祓い、国家の安泰、国民の繁栄と安寧を祈願しました。節分は一年に四回あり、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日を表しています。江戸時代以降は、特に立春の前日を指す認識が強くなって来た様です。冬から春に転じる時期は変化が大きく、疫鬼が民に病や災禍をもたらすと考えられました。そこで疫鬼を祓い、古い年を送り、新たな春の陽気をもたらす立春を一年の始まりと捉え、その前日を特に大事な日としたという説があります。さて、『続日本紀』によると慶雲三年「この年、天下諸国に疫病あり。多くの民

が死に、はじめて土牛を造り大儺(たいなす)との記述があります。日本における節分祭の起源を思わせるこの大儺(たいな)《追儺(ついな)》が千三百年以上前の飛鳥時代に行われていました。然し、この頃は現在の豆撒きは無かった様です。現在各地で行われる豆撒き(地域によって落花生)の始まりは不明ですが、室町時代の文献『壺囊鈔(あいのうしよう)』には、宇多

天皇の勅命によって鞍馬山中にて僧侶が炒った大豆で鬼の目を打ちつぶし災難を逃れた。との一文がある事から、この頃には豆を撒く(豆を打つ)事が定着していた様です。宮中行事としては鎌倉時代以降衰退していきませんが、追儺は節分行事全体の言葉として一般に用いられる様になりました。「鬼は外、福は内」。以前は、大人や子供達の元気な

掛け声が近所から聞こえて来ましたが、今ではその声も少なくなりました。長い歴史の中で形を変え、各土地の風習に則した節分行事が、失われる事の無い様に、大事に守って戴きたいものです。



御本殿前にて豆まき



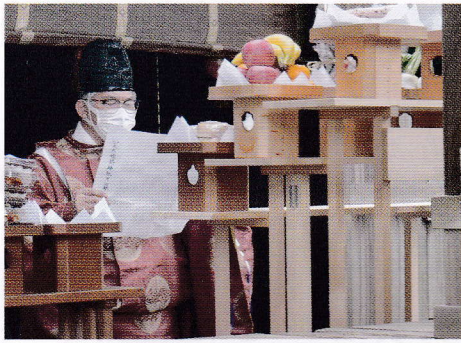
祝詞を奏上する大熊齋主

四本木稲荷神社 初午祭齋行



献饌の御儀

暖かく穏やかな陽気に恵まれ、境内の早桜が少しずつ開花する中、四本木稲荷神社において菊池管長齋主、大熊局員祭員により初午祭が執り行われました。
「よもとき稲荷を守る会」の皆様のご協力のもとに準備が進められ、神饌には境内の一角で栽培された朝採りの野菜が地域の方から供えられ、瑞々しく鮮やかな一饌になりました。
定刻十一時に打ち鳴らす太鼓の音が響く中、齋主・祭員が参進し、所定の位置に着いた後、開式の挨拶が有



管長の祝詞奏上

り、祭典が厳かに斎行されました。
祭典終了後管長先生より御参拝の御礼と『引き寄せ』についてお話されました。
「引き寄せは、頭と心と言葉に依って引き寄せられます。良い事を考え、良い事を思い、良い言葉を発すれば良い事が引き寄せられます。反対に、悪い事を考え、悪い事を思い、悪い言葉を発すれば悪い事が引き寄せられます。〈考え・思い・言葉〉の三つの要素によって、良い事、悪い事が強く引き寄せられるのです。



管長の祝詞奏上

自分にとって何か悪い事が続いていると思う時は、せめて言葉だけでも明るく元気に前向きな言葉を口にすると、運氣が少し良い方向へと変わって来ます。
すると、次第に考えや思いが、少しずつ良い方向へと変わって来ます。
この三つの要素が少しでも良い方向へと変化すれば、良い運氣が引き寄せられて来ます。」と話されました。
祭員が退下した後、大神様の撤下を頒かち合い、よもとき稲荷を守る会からのお土産が渡され、この日の祭典が無事に和やかに終了しました。



参列者玉串奉奠



齋主と共に一拝



管長の挨拶



境内に咲いた早桜

職員を募集します

巫女(一名)

奉仕内容は、事務全般と祭典作法・神楽等です。
教師が推薦する方。
経験が無くても構いません。

詳細は本局へお問い合わせ下さい。



菊池管長の教場訪問

『神道大教 天聖神社』

桜の蕾が膨らみ、開花も間近となった三月十七日、長元総監・大熊部長と共に東京都西多摩郡奥多摩町氷川九一八番地に鎮座する「神道大教天聖神社」へ訪問致しました。

本局と同じ東京都とは言え、高速道路を使用し、片道二時間以上かかり、到着致しました。

当日は齋藤實宮司が入院治療中な事もあり磯崎・坂本両責任役員、渡部総代がお



天聖神社の参道



立派な石の鳥居



御社殿



社殿前に立つ石造りの大きな天狗様1対



神前に祀られている天狗様1対



御神前



天聖神社の役員と共に

迎え下さいました。駐車場から参道を進むと、立派な石の鳥居と大きな天狗様が我々を迎えてくれました。御祭神は大教院御祭神と天聖大神。
昭和三十三年八月十三日に三上平之助氏が代表役員となり、神道大教所属の大教会として宗教法人格を取得し、本年は創立六十五年の記念の年となります。
第二代は中里タノ氏。以降第三代磯崎徳次郎氏、三上登志子氏、鈴木令江氏、渡部清氏が代表を務め現齋藤實氏は平成二十一年九月十一日に第七代宮司に就任されています。

歴代宮司は御神意を参拝者に説き、良き方向へと導く事で多くの参拝者を集めてこられました。本殿内で参拝させて戴くとピンと張りつめた空気の中、霊験あらたかな御神徳がひしひしと伝わって参りました。社殿も広々として立派で、境内も良く整備されていました。しかし乍ら他の教場とも同じで、深刻な問題として後継者選びや運営等が挙げられます。齋藤宮司の敬神と信者の皆様の篤い信仰心により、様々な問題を解決し、天聖神社が益々隆盛なさいます様、期待申し上げます。

九星気学入門

運氣とは

日本人は昔から、自然の働きや癒しの雰囲気のようなものを「気」と呼んでいました。「気」は目には見えませんが、地球全体を覆い、自然に宿り、人間生活の中で大いに生かされているのです。その生きている根本の働き、命の鼓動を感じさせる根元こそが「気」と言えるでしょう。

宇宙に満ちている「気」は、一定のリズムで循環しています。この宇宙の法則にしたがい、さまざまな現象として現れる人の運勢を「運氣」と言います。

「気」の存在や感覚を大切にして生活すると、心身が鋭敏になり、人によっては色々の事柄が自分に合っているかどうかの判断も的確に出来るようになります。「気」の波動を知り、その流れを読む事が、運氣の上昇につながるのです。

陰と陽の発生

陰陽は、古代中国に生まれた思想で、すべての事象は陰と陽からなり、それらが補い合い、調和し合って万物を生成し、発展して行くと言うものです。奇数を陽とし、偶数を陰とした事が始まりで、陰陽の調和、不調和である吉凶の始まりでも有ります。たとえば、地球から見ると太陽は陽性で昼、月は陰性で夜であり、陰陽の調和にとつて自然の活動が止む事なく、恵みを与えてくれるのです。また、男と女、表と裏、夏と冬、朝と夜、明と暗、静と動、強と弱、積極と消極などのようにすべては相反する事で二つに分けられ、プラスとマイナスが均衡する事でバランスがとれていると言えます。このように陰陽は占いの原理であるだけでなく、どこにでも存在します。陰陽が人々の生活に影響し、いかに大切かと言う事が分かるでしょう。

二黒土星

基本的性格

「母なる大地」のように、親切温和で思慮深い努力型です。人から見られていないくても、よく働き、その真面目さが認められます。また、堅実で派手なところがなく、縁の下の力持ちのタイプ。面倒見がよく、困っている人がいると見過ごせず、人から頼まれると断れないのも二黒土星の人の特徴です。反面、気が小さく決断力に乏しいため、企業のトップや組織のリーダーには向きません。ナンバ1・2の立場になれば、長所の粘り強さと細やかな心配りを発揮して、最高の補佐役になれるでしょう。人の意見に左右されず、雰囲気流される事も有りませんが、お世辞を言うのが苦手な性格でもあります。

仕事の特徴

真面目で堅実、コツコツと陰日向なく働くタイプで、上司や目上に引き立てられ思わぬチャンスを得る事も多いでしょう。若いうちに技術や資格を取得して、専門的な職業に就くと、中期になってそれまでの地道な努力が実を結び、晩年まで充実した生活が送れます。ただし、気ままな傾向も有りますから、普段の精進が大事。なるべく早い時期に将来の方向性を決めた方が賢明です。庶民的な職業や職場に向いていて、新しく開発する仕事、事務系や工業技術系には向きません。二黒土星の人の適職は、主婦、保育士、看護師、秘書、料理研究家、食料品店、衣料品店、ケーキ屋、アンテナイクシヨップ経営、陶芸家、シルバ産業、不動産業、土木建築業、米屋、農業、医者であれば産科医・胃腸科医などです。

恋愛の特徴

内気で恥ずかしがり屋のため、恋愛には少々不器用。積極的なアプローチも苦手な分、派手さが見えない分、内にはかなり激しい情熱を抱えています。それだけに、一度失敗すると恋愛恐怖症になる事も。時間をかけ、誠実な人柄を理解してもらおう事で、恋愛が成就します。また、いざとなると相手の細かい欠点が目についたり、取り越し苦労をしたりして、二黒土星の人の恋愛は意外に現実的です。最初は遊びのつもりでも、優しさが先行する傾向があるので、最後には真面目な恋愛からそのままゴールインという優等生パターンが多いでしょう。女性なら愛情細やかで、夫や子どもに尽くす良妻賢母に。派手な大恋愛とは無縁ですが、堅実な幸福をつかみます。若い頃から年配者に好かれ、親戚づきあいも上手にできるタイプです。



著者 歴作家
大教正 井上象英

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』
株式会社神宮館発行

不易流行

管 長 菊 池 重 敏



「不易流行（ふえきりゆうこう）」と言う言葉が有ります。これは、松尾芭蕉の俳諧用語です。

「不易」は変わらない事、詩の基本で永遠性を意味しています。「流行」は、その時の新風で変化していく事を意味しています。

「不易」も「流行」も詩の心の誠から出て来るもので、根本的には同一であると考えるのが、俳諧の根幹で有るとしています。

意味としては、昔の事をそのまま伝えていたのでは滅びてしまう。「流行」の新風を取り入れて自分を変えて行かないと進化して行かないと言う事です。

「不易」を考えないで、「流行」の変化だけを重要視しても又、滅びてしまう。

「不易」の変わらない事も大事、更に「流行」の変化を取り入れて行かなければならない事も大事。

変わらない事と変わる事の矛盾を同時にやるのが進化で有ると説いています。

日本は敗戦後、教育に於いて「日本は先の戦争で悪い事をして、良い文化も無く、伝統・教育・宗教も良くない。」

と自虐的な精神を植え付けられました。

その結果、日本人の中には、自分の国を良く思わない。日本の事を良く知らない。と言う人が多くなっていました。

国際人は、自分の国を愛している、自分の宗教をしつかり持っている、と言うのが当たり前で、自国を誇れない人は、外国では相手にされず、評価されなく成って来ると言われます。

イギリスのBBCワールドサービスが平成二十八年四月二月から平成二十九年四月まで、世界十九ヶ国から一万八千人に対して行った調査（日本人及び日本の国は入っておらず、日本人の自己評価が排除された内容）で、世界にポジティブな影響を与える国（いい国）ランキングで、日本は三位に入っています。一位がカナダ、二位がドイツ、四位がフランス、五位がイギリスです。

平成十八年から平成二十年

までの三年間は日本が一位でした。

日本のどの点がイメージ的に好きですか？の調査に対して一番が自然の美しさでした。その他では、経済力や技術力が高い、決まりを守る、豊かな伝統と文化を持っている等の評価です。

五十一パーセントが日本の伝統文化を好んでおり四十九パーセントが日本のトッ

プカルチャー（現代文化）としての、マンガ、アニメ、音楽、ファッション等を好んでいます。

日本人よりも外国人の方が日本を良く評価してくれているのです。

「不易」「流行」を当てはめて見ますと、戦後の日本の発展は、「流行」を指す変化の時代で有りました。

外国の文明を取り入れて競い合い、自国を顧み無い無我夢中の時代です。

しかし、日本国土に培われている、日本人の精神とも

言うべき、変わらない「不易」の心は、惟神（かんながら）の、神を尊ぶ心として、日本人の心根に、連続として深く生き、つながられています。

戦後から続いている、変化の「流行」の時代は、十分に長い時間を経ました。これからの日本人は「不易」の心を大切にし他国からは評価されている「良い国」を自覚した上で、国民全てが更に誇りを高めて行く時代と成って行かなければなりません。

大好評！

菊池管長の講話集

『人生が変わる』

幸せを呼ぶ言葉

発行所 文芸社株式会社

定価一四〇〇円（税別）

菊池管長の五十二編の

いい話が収録されています

本局にお申込み下さい



神道大教次世代委員会研修会

令和三年十二月二十一日から二十二日にかけて次世代委員会研修会が開催されました。二十一日、師走の月次祭齋行の後、菊池管長、長元委員長を含む七名で、神道大教第五代神崎一作管長、第七代森田作次管長と縁の深い神奈川県大山へ向けて出発しました。

伊勢原市に到着し、宿泊先にチェックイン後、市内において次世代委員会の会議が開催され神道大教の未来について、三年後に迎える創立百五十年記念大祭について等議論を交わし、その後、懇親会が催され親交を深めました。二十二日、大山参詣の研修会では、始めに大教所縁の権田直助大人与奥様の菊子刀自の奥津城を参拝し、御霊様の安寧と神道大教の発展を祈りました。現在は権田翁の功績を後世に伝えるべく、「権田公園」として地域の方々により維持管理されています。

その後ケーブルカーに乗り、歩みを進め大山阿夫利神社下社を参拝しました。権田直助翁の像の前、山頂への登拝口で写真撮影をしました。

大山山頂に鎮まります、大山阿夫利神社上社を目指すには、これから相應の時間を要し、帰りの時間を考慮して、半分ほど登った所で引き返す事になりました。無事に参拝を終え、麓の宿坊東学坊に立ち寄りました。東学坊は、四百年続く大山の宿坊であり、温かいお風呂と伝統の御坊料理が大山

登拝で疲れた身体を癒やしてくれました。

東学坊の入り口付近に奉納された石垣の御芳名の中に神道大教の御霊殿に奉齋されている御霊様の御芳名がありました。神道大教と大山との御縁の深さに改めて感じる事が出来ました。

今回、山頂の上社を参拝する事は叶いませんでしたが、神道大教と大山の関わりの深さを改めて感じさせて戴く、良い機会になりました。早くコロナ禍が終息し、全国の多くの次世代委員が気兼ねなく集まり、賑やかに当会が開催出来るようになる事を願い、今後益々活動を広げたく思います。

(菊地康倫 記)



大山阿夫利神社の石段



大山阿夫利神社御社殿



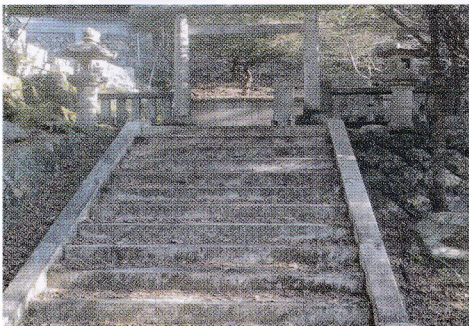
権田直助翁像の前



登拝途中で記念写真



懇親会での1コマ



権田直助大人の奥津城の石段



権田直助大人与奥様菊子刀自の奥津城にて



宿坊東学坊前にて

高松宮家と 喜久子妃殿下

高松宮の創始は、後陽成（ごようぜい）天皇（第七七代）の第七皇子好仁（よしひと）親王で、一時御継嗣を絶ちますが、御西（ごさいい）天皇（第百十一代）の第二皇子幸仁（ゆきひと）親王が、寛文七年（一六六七）に御継承され、同十二年有栖川宮と改称されました。以来威仁（たけひと）親王まで十代、三百年続きました。本教の初代総裁に八代有栖川宮職仁（たかひと）親王が御就任なされ、本教と有栖川宮家・高松宮家とは深い関係が御座います。威仁親王に御継嗣がいらっしゃらなかった為、大正天皇の第三皇子宣仁（のぶひと）親王が大正二年再び高松宮を称しました。

高松宮宣仁親王殿下は、昭和六十二年二月三日、八十二歳で薨去されましたが、その後は喜久子妃殿下が宮家当主となられて、平成十

六年（二〇〇四）喜久子妃殿下の薨去に伴い、高松宮は断絶致しました。

喜久子妃殿下の父上は徳川慶久（よしひさ）公爵、母上は有栖川宮家女王の實枝子様で、明治四十四年（一九一）に次女としてお生まれに成られました。

御祖父は第十五代將軍徳川慶喜（よしのぶ）公で、昭和五年（一九三〇）に高松宮宣仁親王殿下と御結婚されました。昭和八年に母君有栖川宮實枝子女王が癌で、四十二歳でお亡くなりになられた時の、辛く悲しいお気持ちから、この恐ろしい病気に並々ならぬ御関心を持たれました。それ以来、人類最大の問題で有る、癌

と言う病気撲滅の為にその研究の助成を続けられました。妃殿下の癌研究に対する御支援は、国内のみならず、海外にも広く知られております。

癌撲滅を目指して「高松宮妃癌研究基金」を創設され、名誉総裁として、諸外国の学者を毎年招聘（しょうへ

い）し、国際シンポジウムを開催されて、優れた研究者の育成、援助に努められました。

本教でもこの基金に毎年協力し、平成二十九年には感謝状を賜りました。

又、妃殿下は、日仏両国の文化交流、更には、福祉、文化、国際親善等様々な分野におかれましてもお力を尽くされました。



高松宮家御墓所（宮内庁公式写真）



喜久子妃殿下の御遺影

令和四年度 夏季研修会の御案内

【前半・後半過程】

受講料 四万二千元
宿泊費 一万四千元

○参加条件

現職教師及び本教教師・教場後継者として布教活動を志願する方。初任の方は教場長・現職教師（教師取得年限及び実務経験が五年以上）の推薦を得て、検定委員より許可された方に限ります。

○申込方法

受講希望者の方は、八月十五日（月）までに、申込書に必要事項を記入の上、送付して下さい。

初任者の方は、履歴書・住民票・証明写真（5cm×5cm）を必ず添付して下さい。

○会場 神道大教本局

○期日

【全日過程】

八月二十二日（月）より

八月二十八日（日）まで

【前半過程】

現任者のみ

八月二十二日（月）より

八月二十五日（木）まで

【後半過程】

現任者のみ

八月二十五日（木）より

八月二十八日（日）まで

○費用

【全日過程】

受講料 七万二千元

宿泊費 二万八千元

※尚、研修内容を変更する事も御座います。

【注】笄及び衣装類につきましては、本局での準備ました注文はお受け致しませんので、推薦者と御相談の上、各自で御用意下さいませ、お願い致します。

管長の動向（対外行事・事務局）

一月	十一日	歳旦祭齋行・初詣対策実施（三日まで） 教派神道連合会理事会（リモート会議） 禊教 坂田教主弔問（管長・大熊部長）
	十三日	四本木稻荷神社初月次祭（管長・総監・大熊部長奉仕）
	十五日	中旬祭
	十八日	天台座主森川宏映大僧正本葬 天台宗務庁（中止）
	二十一日	初月次祭齋行・新年互礼会（中止）
	二十七日	東京都教派神道連合会理事会（中止）
二月	三日	月首祭 節分祭齋行
	十三日	高松宮宣仁親王殿下御命日祭 豊島岡墓所（中止）
	十五日	四本木稻荷神社月次祭（大熊部長奉仕）
	二十一日	中旬祭 月次祭齋行
三月	十一日	教派神道連合会理事会出席（リモート会議）
	十三日	四本木稻荷神社月次祭・初午祭齋行（管長・大熊部長奉仕）
	十五日	中旬祭
	十七日	管長教場訪問 東京都「神道大教天聖神社」 （管長・総監・大熊部長）
	十九日	管長教場訪問 千葉県「神道大教大和八幡神社」 （管長・大熊部長）
四月	二十一日	月次祭・春分霊祭齋行
	一日	月首祭
	十一日	教派神道連合会理事会出席（國學院大學）（管長・大熊部長）
	十三日	四本木稻荷神社春季大祭齋行（管長・総監・大熊部長奉仕）
	十五日	中旬祭
	二十日	大祭祭員集合（大祭準備・習礼）
	二十一日	春季大祭齋行

教内異動

☆教師昇級

○補・権中講義
神奈川・直属

額額 司

（令和三年十二月二十一日付）

○補・中教正

高知・高知中教院（長）
吉良祝人

（令和四年二月九日付）

辞職者

○北海道・札幌八幡宮（属）
権訓導・鈴木浩司

（令和四年二月九日付）

帰幽報告

次の先生の帰幽の報に接し生前の御奉仕、御活躍を称え、謹んで哀悼の意を表します。

○令和四年二月一日帰幽
鹿兒島・直属
権少教正・高田頼子師

【訂正とお詫び】

前回の正月号に誤りが有りました。

訂正してお詫び致します。

誤り

四ページ

①宮田 学

五ページ

②穴野綾子

六ページ

③若森高子

④金丸たか子

訂正

①宮田 楽

②穴野綾子

③若森秀子

④金丸タカ子

菊池管長の教場訪問

『神道大教 大和八幡神社』

三月十九日、千葉県八千代市勝田一二五五―二に鎮座する宗教法人「神道大教大和八幡神社」に管長教場訪問をしました。境内にはスイセンやヒヤシンスなど季節の花が咲き、春らしい色を添えています。先代の橋村徳昭先生が平成七年九月千葉県習志野市に大和八幡神社を創始し、平成十四年五月に現在地の八千代市に遷座しました。



御社殿

東一円に月間一五〇件以上の出張祭典を御奉仕されてきました。神道大教に於きましても、長年の御功績により、尾立管長から権大教正の職級を授与されており、本教創立百三十年記念事業では実行委員として御活躍されました。平成二十二年四月に御帰幽されましてからは、御息女の橋村美樹先生が先代の御意志を受け継ぎ、平成二十四年七月宗教法人設立となり、代表役員を務められています。大和八幡神社の社名の由来は橋村徳昭先生が八幡神を信仰していたことに加え、古来より受け継がれてきた大切な日本の精神である『和』によって、世界が一つの大きな輪と成り真の平和が訪れるようにと願いを込め、日本の古称である「大和」から大和八幡神社と名付けられました。



社務所

橋村美樹先生は、女性の感覚からホームページ等で易しく神道を説かれています。活動目的についても、「神道は人々の祈りによって形作られます。その祈りは時代とともに変化しています。大切な事は大切なままで、時代に迎合するのでは無く、時代に添った大和八幡神社らしい姿を模索しながら、布教・教化活動を行っています」と、言われています。女性神職だからこそ、女性の御家族に安心して受け入れて戴ける等、女性ながら



先代の橋村徳昭宮司

の教化活動を熱心に広めておられます。又、神道大教院の総代を務めて戴いており、毎月の月次祭での祭員や大祭での舞の奉納を務められています。神道大教では、欠かせない貴重な女性教師として御活躍を戴いています。今後益々の御活躍を期待しています。



神道大教院大祭にて舞の奉納



橋村宮司と共に